

Silicon Valley

Extended

Program

INDEX

- 01 | コース概要
- 02 | プログラム構成
- 03 | スケジュール
- 04 | 対象者・応募要件
- 05 | 費用負担
- 06 | 選考プロセス・基準
- 07 | 応募方法
- 08 | 注意・免責事項
- 09 | 問合せ先

01 OUTLINE | コース概要



目的

グローバル進出に必要なマインドセット、知識、スキル、リレーションを構築し、グローバルVCを惹きつける資金調達戦略を策定する。

1	グローバル進出のためのマインドセットや基礎知識の理解
2	現地実践を通じたグローバル市場展開の検証
3	グローバルVCを惹きつける資金調達戦略の策定

派遣先

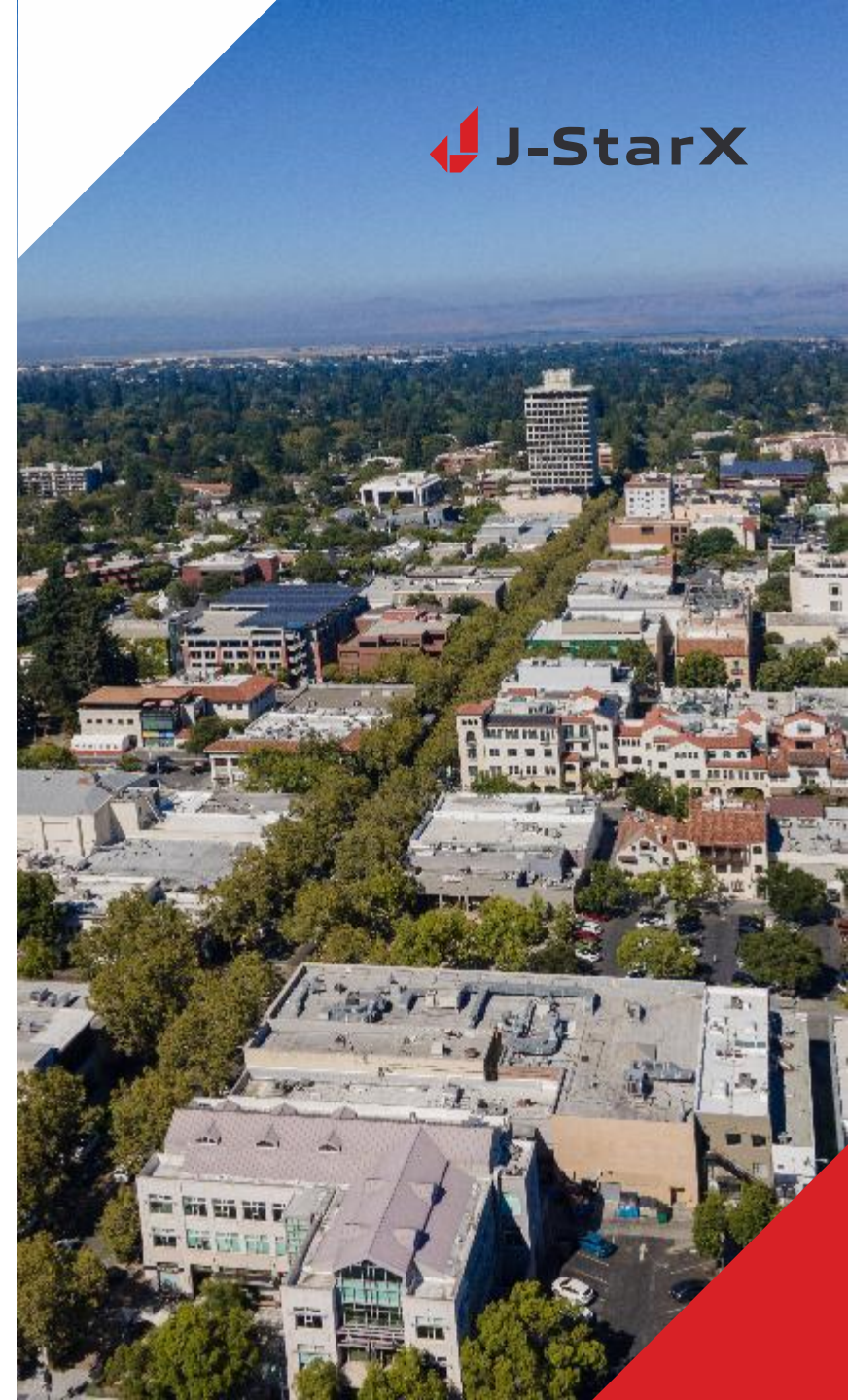
米国・サンフランシスコ、シリコンバレー

主な対象

対象企業	グローバル進出を目指す日系スタートアップ企業
ステージ	プレシード～シリーズA
マイルストーン分類	Validator
分野	全分野
その他	<ul style="list-style-type: none">海外展開における意思決定が可能な方（CXOクラスもしくは海外事業責任者の方）がプログラムを通じて参加が可能なこと北米市場への進出を目指し、1か月程度北米での滞在が可能なことメンタリング、ピッチイベントの参加、商談が可能な英語力を有すること

※渡航対象者等の応募条件の詳細は「04 対象者・応募要件」をご確認ください。

※マイルストーン分類の詳細は「06 選好プロセス・基準」をご確認ください。



02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 – 全体像



※プログラムの実施内容・形式等に変更になる可能性があります。
※全日程、使用言語は英語となります。

1 国内ブートキャンプ



ブートキャンプ & ピッチ審査 (最大30社程度)

グローバル進出に向けた基礎知識の理解およびマインドセットの構築を目的として、支援機関の500 Globalメンターによるレクチャー、および個別メンタリング以降の参加者の選考を目的としたピッチ審査を実施

2 個別メンタリング



渡航前集中メンタリング (8~12社程度)

審査を通過したスタートアップのニーズの掘り下げ（主要KPIの設定や製品のPMF等を目的として、集中的にメンタリングを実施）

3 現地滞在プログラム



セッション・メンタリング・ ネットワーキング (8~12社程度)

グローバル市場展開の検証を目的として、現地で長期滞在しながら、セッション、メンタリング、ネットワーキング等を実施。また、グローバル投資家へのアプローチを目的としたバーチャルデモデいの撮影を実施

4 フォローアッププログラム



渡航後サポート (8~12社程度)

帰国後、引き続きグローバル進出に向けたロードマップ作成、進捗のトラッキング

1 国内ブートキャンプ&ピッチ審査

グローバル進出に向けた基礎知識の理解およびマインドセットの構築を目的として、支援機関である 500 Global メンターによるレクチャーを提供するとともに、次ステップ参加者の選考としてピッチ審査を実施。

定員 最大30社程度（各社2名まで）

**日程
場所** 1週目：2026年8月17日(月)～8月21日(金) / 2週目：2026年8月24日(月)～8月28日(金)
東京

概要

- **ブートキャンプ（1週目／5日間、対面）**
 - イントロダクション&概要説明
 - 500 Global メンターによるグローバルに向けた基礎知識に関するレクチャー（国外PMF、GTM、ストーリーテリング等）
 - グローバルマインドセットの理解
- **ピッチメンタリング&ピッチ審査（2週目／5日間、対面）**
 - ピッチ審査に向けた準備
 - ピッチ準備に係る1on1およびグループメンタリングの実施
 - 審査（審査員：500 Global チーム、ジェトロ、ゲスト審査員）

※原則、全日程を対面で実施します。

2 個別メンタリング | 渡航前集中メンタリング

審査を通過したスタートアップのニーズの掘り下げ（主要KPIの設定や渡航時に達成したい戦略目標の策定を行うための集中的なメンタリングを実施）

定員 8~12社程度（各社2名まで）

**日程
場所** 2026年9月7日(月)~9月25日(金)
ハイブリッド（現地：東京/ オンライン）

概要

- **500 Global メンターによる集中的な個別メンタリング（ハイブリッド（現地：東京／オンライン））**
 - 参加者のグローバル進出準備に向けた詳細カリキュラム（セールス&マーケティング、プロダクト等）
 - 現地滞在プログラムに向けた成長戦略専任のメンターによるメンタリング（1on1）
 - プログラム計画の策定と目標の明確化
 - グローバルマインドセットの形成

3 現地滞在プログラム | セッション・メンタリング・ネットワーキング

グローバル市場展開の検証を目的として、現地に長期滞在しながら、セッション、メンタリング、ネットワーキング等を実施

定員	8~12社程度（各社2名まで） ※ジェトロによる宿泊費の負担は各社1名まで
日程 場所	2026年10月5日(月)~10月30日(金) ※左記は現地プログラム実施日であり、移動日は含まれておりません。 サンフランシスコ、シリコンバレー
概要	<ul style="list-style-type: none">• 参加型セッション、ネットワーキング（対面）<ul style="list-style-type: none">– グローバルな資金調達について学び、投資家向けピッチを改善– グローバルネットワークを構築し、潜在顧客からフィードバック獲得および模擬投資家インタビューとのQ&Aセッションの実施• 個別メンタリング（対面）<ul style="list-style-type: none">– 成長戦略専任のメンターによるメンタリングおよび商談前の目標設定や商談後のフィードバック、ネクストアクションの整理– 活動ダッシュボードを利用したグローバル市場でのセールスプロセスの改善• ネットワーキング<ul style="list-style-type: none">– 対面でイベントを開催し、エコシステム内の関係者とネットワークを築いてトラクションを獲得• その他<ul style="list-style-type: none">– グローバルなステークホルダー（トップティアVC、メディア等）に向けたバーチャルデモデイの事前録画を実施（公開は渡航後となります）

4 フォローアッププログラム | 渡航後サポート

帰国後、引き続きグローバル進出に向けたロードマップ作成、進捗のトラッキングを実施

定員 8~12社程度

**日程
場所** 2026年11月中旬
ハイブリッド（現地：東京/ オンライン）

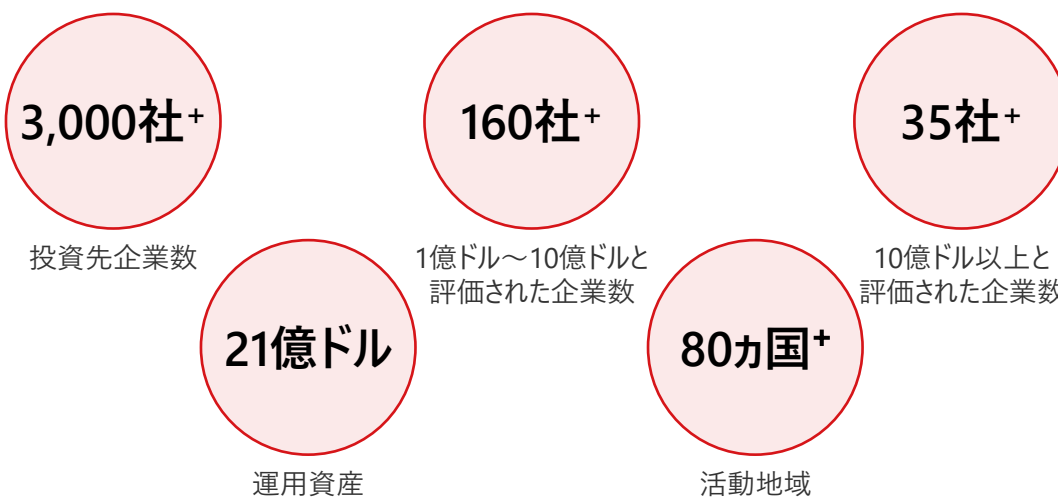
概要

- 500 Global プログラムチームによる個別メンタリング
 - プログラムの成果や課題の振り返り
 - 今後のステップに向けたロードマップの作成
 - 各スタートアップと作成したロードマップの進捗をフォローアップ
 - バーチャル・デモデイの結果と今後のアクションを確認

(プログラム委託予定先) **500 Global**

URL: <https://500.co/>

2010年に設立されたシリコンバレー本社のベンチャーキャピタルファームであり、世界中の成長中のテクノロジー企業に投資する。シードラウンドからリードし、アーリーステージからレイトーステージまで、世界中の有望な起業家をサポートする。



02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 – メンターの紹介



Janko
Milunovic

グローバルのテクノロジー企業や金融機関で豊富な経験を持つ起業家・事業成長のスペシャリスト。Sonyや欧州最大級の銀行Sberbankでデジタル領域をリードしたほか、Startupbootcamp BerlinではCOOとして25社以上のスタートアップ支援に従事。また、Bstormの共同創業者として事業成長を牽引し、M&Aを実現。その後も複数のテクノロジー企業でGrowth、Revenue、経営戦略領域を担当し、急成長フェーズのスケールアップを支援。現在はHatchers AIのFounderを務めるほか、OneDay.orgのEIR、500 Globalのメンターとして世界中の起業家支援にも取り組む。



George
Ishii

1995年にAdobe Systemsでエンジニアとしてキャリアをスタートし、2000年にはPayPalに30人目の社員として入社。6年間にわたりプロダクトおよびUXを担当し、PayPalの基盤となる多くのプロダクト体験の設計に携わり、退社後はGeni.comを共同創業。その後、BetterWorksおよびComparablyをプロダクト/UX責任者として共同創業。今は様々なアーリー・ステージのスタートアップのアドバイザーおよび投資家としても活動。



Graham
Kennedy

18年間にわたり、北米・アジアでプロダクト、イノベーション、成長戦略、エンジニアリング、およびデータチームをリードしてきた経験豊富な最高プロダクト責任者。グローステージにおけるB2BのSaaS企業に対して、PLG (Product-Led Growth)、リーダーシップ、プロダクト、イノベーション、成長戦略等に関するアドバイスを提供。

02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 – メンターの紹介



Robert
Neivert

シリアルアントレプレナーとして、これまでに8社の創業・経営に携わり、4件のExitを実現。CEOを2度務めたほか、COOや営業・マーケティング責任者として、複数のスタートアップの成長を牽引。

現在はEVバッテリー領域のスタートアップを創業し、次世代モビリティ分野で事業を展開する一方、500 Globalでは長年メンターを務め、世界各国の起業家支援にも従事。

資金調達、グロース、プロダクト、マーケティング、オペレーションまで幅広い領域に精通し、スタートアップの立ち上げからスケールまで豊富な経験を持つ。



Michelle
Kim

SaaS業界で20年以上の経験を持ち、Zendesk、LinkedIn、Seagate、Culture Ampなどのグローバル企業にて、Sales、Marketing、Customer Success、Revenue Strategy / Operationsなど幅広い領域をリード。事業成長戦略から組織づくりまで豊富な経験を持ち、Revenue領域における実践的な知見に定評がある。また、Women in Revenueのボードメンバーを務めるほか、自身のポッドキャストではクリエイター兼ホストとしても活動。



Daniel
Idzkowski

10年以上にわたり会社の設立、資金調達、アドバイザーとして成功を収めてきた実績を持つ。起業家としてのキャリアにおいては、数百万ドルのベンチャー資金を調達またはスケールと収益性を実現した3社を創業。アドバイザーとしては、350社以上の企業が合計1億5,000万ドル以上の成長資金を調達するのを支援。

02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 – メンターの紹介



Frank
Mastronuzzi

CFO支援や資金調達戦略、VC向けファンドレイズ支援を手がけるブティックファーム「Punch Financial」のManaging Partnerを務める。これまでに30件以上のM&Aに携わったほか、15年以上にわたり急成長企業の財務・オペレーション領域をリード。スタートアップから成長企業まで、幅広いフェーズの経営支援に従事。現在はVCファンド「Fabrik VC」のManaging General Partnerとしても活動し、投資家としてスタートアップ支援にも取り組む。



Brandon
Middleton

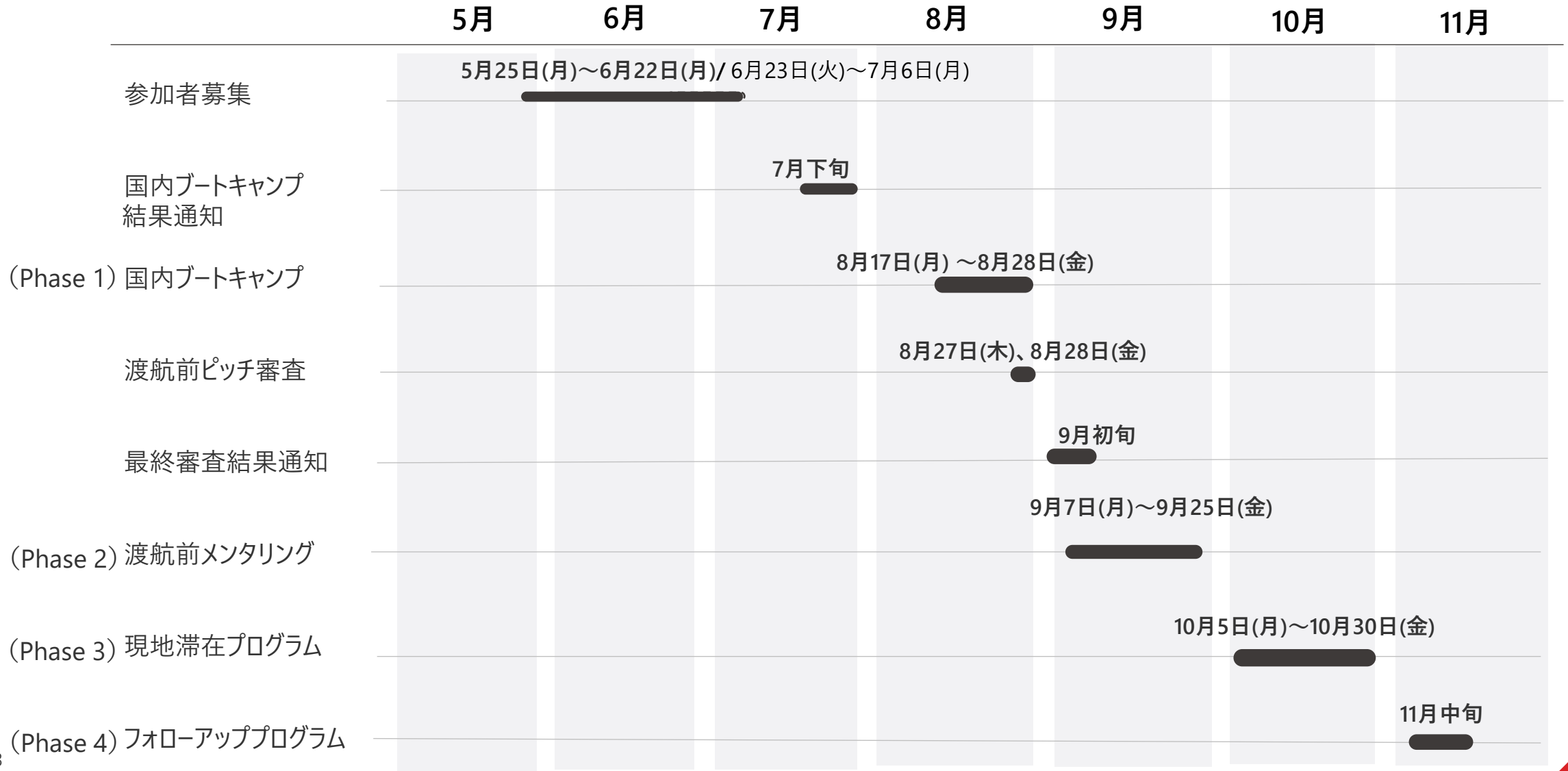
シリコンバレーを拠点に、過去15年間でAmazon、Microsoft、Cisco Systems、Wounded Warrior Project、スタンフォード大学などで活躍。出身はシカゴ南部で、2005年に西海岸へ移住。そしてAI/ML、モバイル、クラウドコンピューティング技術を活用し、顧客やクライアントのビジネスをデジタル変革へと導く技術・ビジネスリーダーとして活動。カリフォルニア大学バークレー校で経営学修士号（MBA）を、イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校で電気工学の学士号（B.S.）を取得。



Megan
Groves

2度のExitを成功させたシリアルアントレプレナーであり、現在はPopulationのFounder / CEOを務める。Fortune 500企業向けに、パンデミック対策やワークプレイス・インテリジェンスを実現するフィジカルAIソリューションを開発・展開。独自の研究成果や特許技術を活用し、次世代の働き方を支援。これまでに20社以上のテクノロジー企業の成長支援に携わり、SeedからSeries Dまで幅広いフェーズでスケールアップ、資金調達、Exitを支援。現在はエンジェル投資家としても活動。

03 SCHEDULE | スケジュール



※1 面談審査の日程は対象者に後日連絡します

定員

- 国内ブートキャンプ：最大30社程度（各社2名まで）
- 個別メンタリング、現地滞在プログラム（8~12社程度、各社2名まで）

主な対象

対象企業	グローバル進出を目指す日系スタートアップ企業
ステージ	プレシード～シリーズA
分野	全分野
その他	<ul style="list-style-type: none"> • 海外展開における意思決定が可能な方（CXOクラス推奨）がプログラムを通じて参加が可能なこと • 北米市場への進出を目指し、1か月程度北米での滞在が可能なこと

応募要件

プログラム参加者は以下の全ての条件を満たすこと

- 日本に活動拠点のある日系スタートアップに所属するCXOクラスもしくは海外事業責任者の方
（日系スタートアップに所属する方である限り国籍は問いません）
- 英語の提案資料/商談可能な英語力を有すること
- 潜在パートナーに提示するプロトタイプを有すること
- 過去のプログラム期間中・終了後のヒアリング・アンケート等に回答いただいていること。また、今後必ず協力いただけること。
- 本プログラムが提供するサービス（オンラインメンタリング等）に参加するための設備・環境を準備可能な方

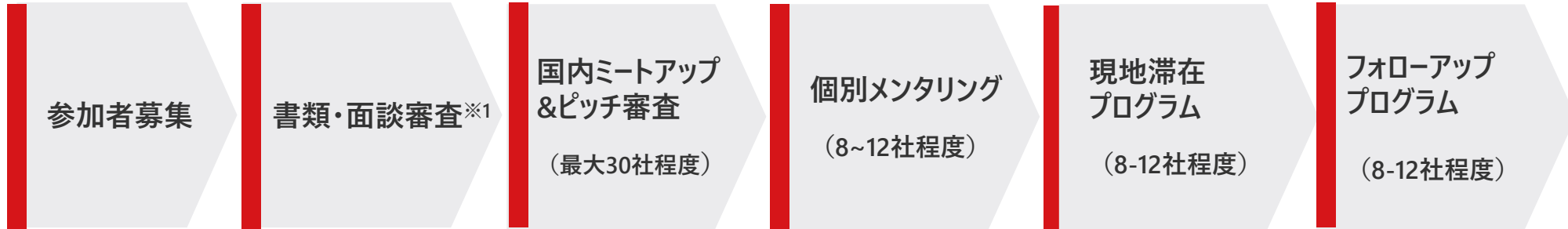
※ 本プログラムは経済産業省・ジェトロが連携して行うプロジェクトであり、随時、フォローアップアンケートや成長過程の調査を実施します。

参加者による費用負担

- 国内移動費
- 米国渡航費（航空券）
- 海外での移動費、飲食費、通信費、VISA代、海外旅行保険費などのその他発生する費用
- その他「主催者JETROによる費用負担」以外のすべての費用

主催者による費用負担（現物支給）

- メンタリング等の各種プログラム受講料
- 現地滞在プログラム実施期間中の参加者1名分の宿泊費（10月5日チェックイン～10月30日チェックアウト 迄）
 - ※ 上記は全てJETROにて直接手配します。参加者に上記費用を支払うものではありません。
 - ※ JETRO指定のホテルに宿泊いただく場合は、JETROが宿泊手配を行います。その際、参加者の方に宿泊費のご負担は発生しません。
 - ※ JETRO指定のホテルをキャンセルされた場合は、キャンセル料が発生しますのでご注意ください。
 - ※ 自己負担で別のホテル等に宿泊することも可能ですが、プログラム実施場所やスケジュールを十分にご確認のうえ、ご自身で手配をお願いいたします。宿泊費はご自身の負担となります。



※1 面談審査の日程は対象者に後日連絡します

選考基準

- JETROが実施するその他のプログラムの参加状況、申込内容、海外展開の目的や状態を踏まえて、参加意義が認められること ※次ページに詳細
- メンターならびにジェトロがサポート可能であること
- 本プログラムの参加によって、スケールアップが見込まれること
- 技術主導であり、製品、技術、サービスアイデアの新規性や競争優位性があること
- バリュープロポジションが明確であること
- ビジネスモデルの収益性が高く、持続的な成長が見込めること
- 市場需要を証明するトラクションがあること
- 海外展開に適したチーム構成であること
- パートナーと連携・協力するための方法、条件が明確であること

選考基準：適切なコース選定

■プログラム選定の考え方

各プログラムでは、参加企業が最大限の成果を得られるよう、**事業ステージと目的に応じた適切なコース選定**を選考基準の一つとしています。

海外展開に向けた課題やニーズは企業ごとに異なるため、**自社が「今、何を達成したいのか」から逆算したコース選択**を推奨します。

主な参加目的例

- 海外市場におけるPMF検証
- Go-to-Market戦略の精緻化
- 初期トラクションの獲得
- 海外ネットワークの構築

目的が明確でないまま複数のプログラムに参加することは、時間やリソースの分散につながる可能性があります。スタートアップにとって最も重要なリソースである「時間」を有効に活用するため、コース選定の趣旨をご理解のうえご応募ください。

■ 応募前の相談推奨

JETRO Startupチームは、事業ステージや目指す方向性に応じた**最適なコース選定の相談**を受け付けています。

- 今年度、他のアクセラレーションプログラムに採択されている方
 - 適切なコース選択に迷っている方
- いずれの場合も、応募前にお気軽にご相談ください。

マイルストーンタイプ	参加目的	参加条件想定
Explorer(探索)	アイデア段階での方向性検証・市場理解	MVP未満、海外展開意欲あり
Validator(検証)	PoC/MVP段階での市場検証・ユーザーヒアリング	プロダクトあり、仮説検証段階
Scaler(成長)	顧客・投資家獲得、海外展開実行	プロダクト一定成熟、海外進出予定
Connector(特化)	投資家・パートナー連携重視	目的特化(資金調達、提携など)

①応募フォーム ②英語ピッチ資料の両方を提出してエントリーしてください



- 応募内容について、審査を行い、採択可否の通知を行います。
- 書類審査とあわせて面談審査も実施いたします。
- 審査結果に対する問い合わせには一切お答えできませんので、予めご了承ください。
- 別途、ピッチデッキ資料（英語）の提出が必要です。
(形式・方法等は次ページ以降参照)
- 誓約書とパスポートの写真が掲載されたページのコピーが必要となるため、お手元にご用意ください。詳細は採択者に別途ご案内いたします。

• 審査結果に対する問い合わせには一切お答えできませんので、予めご了承ください

英語ピッチデックの提出方法・プロセス

Step 1

当プログラムへの参加登録

前頁の応募フォームから英語でお申し込みください

Step 2

英語ピッチデック格納（アップロード）

作成した英語ピッチデック資料を指定の格納先（※右側記載の通り）へ提出ください

■英語ピッチデック資料の格納先は[こちら](#)

- ※ 添付URLフォームでの提出が難しい方は、J-StarX@jetro.go.jp宛にメールにてご提出ください。
- ※ その場合、メールの件名は「SVEP_企業名_氏名」とし、本文にプログラム名、企業名、氏名を記載の上ご提出ください。（名前の部分にはご自身の名前をご記載ください）
- ※ 原則PowerPointで作成し、PDF形式に変換

英語ピッチデッキ資料作成にあたっての留意点

以下の留意点が守られていない場合は、審査対象外となる可能性がありますので、ご注意ください

■ 英語ピッチデッキ資料作成の留意点

- 右欄に示す記載内容を含む形でご作成ください
- 表紙は不要、10ページ目途でご作成ください
- ファイルは原則PowerPointで作成し、PDF形式に変換してご提出ください（ファイルサイズは3MB以下）
- ファイル名は「**SVEP_企業名_氏名.pdf**」としてください
- ~~2026年6月22日(月) 17:00 (JST) まで~~
2026年7月6日(月) 23:59 (JST) までにご提出ください

■ 英語ピッチデッキ資料に記載する内容

プロトタイプについて以下の4項目を必須項目としてスライドに記載してください。また、ご自身のお名前を1ページ目左上にご記載ください。

1. 解決したい社会課題・その解決策の提示
2. プロトタイプの概要・技術（写真や図、文章を用いて）
3. 事業の拡大戦略
4. プロトタイプにおけるアピールポイント・強み

※資料は**英語**でご作成ください。

※スライドのデザイン・フォーマットは問いません。

1. 本プログラムの参加費用支援は、原則1社1名までとなります。（自社負担での同行については問題ありません）
2. 必要に応じて、現地交渉先との面談などにも、メンターおよびジェトロ職員が同行する可能性があります。また、帰国後の成果把握、進捗確認への協力をお願いします。
3. 本プログラムの選考通過後は、ジェトロ事業の紹介、成果報告のための外部公開をする場合がありますので、ご了承ください。
（公開内容は事前に確認を行います）
4. JETROが実施するその他のプログラムの参加状況、申込内容、海外展開の目的や状態を踏まえて、参加意義が認められること ※P. 17参照

免責事項

[J-StarX利用規約・免責事項](#)をよくお読みの上、応募をお願いします。

キャンセル規定

如何なる理由においても、渡航日程決定後のキャンセルは認められません。

宿泊費についてキャンセル料、もしくは変更料がジェトロに発生する場合は自社にて負担いただきます。

キャンセル料発生日：正確な期限は後日参加者にアナウンスします。

09 CONTACT | お問い合わせ



コース名 Silicon Valley Extended Program

実施機関 ジェトロ イノベーション部 / スタートアップ課

担当者 山岸、蟹江、大田

お問い合わせ [問い合わせフォームリンク](#)

